西東京市公民館運営審議会 平成30年度第6回定例会議

資料2

平成 30 年度 公民館主催事業計画書

公運審提出日 9月26日

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	事業の主旨	期間・回数	学習内容	主な講師
1	田無	防災クッキング 元気が出る災害食 〜普段の食材でむ だのない備蓄〜	学習・自 己実現	災害時慣れ親しん だ味は元気にして くれる。家庭の食材 備蓄とその活用法 を学び災害を乗り 切る方法を考える。	11月18日 日曜日	・在宅避難生活の対策(二次 災害、トイレ、食料の備蓄) について考える。 ・ライフラインの停止を想定 した食事作りと試食 ・食材の免疫力を上げる効果 的な食べ方を学ぶ。	鈴木佳世子(一般社団法 人危機管理教育研究所 認定防災クッキングア ドバイザー・料理研究 家)
2	田	地域防災講座 防災まち歩き	地域づく り	地域住民、ふれまち、小学校、避難所 運協など関係機関 間の連携を視点にした防災・減災まち 歩きをし、災害時の 体制に繋げる。	12月1日 土曜日	・まち歩きのポイント説明 ・避難所運営協議会の活動報告と備蓄倉庫の公開 ・まち歩きで安全・危険箇所 の確認 ・振り返り、質疑応答	西東京レスキューバード、西東京市危機管理室

3	芝久保	防災講座 避難所運営ゲーム (HUG)を体験 しよう	地域づく り	被災時に主体的に 避難所運営を担う 人材を発掘する。	11月22日 木曜日	避難所運営ゲームを実施し、 避難所運営を疑似体験する。 要援護ワークシートに、要援 護者が避難所で困ることを 想像して書き込む。	荘 雄一朗 (西東京レス キューバード) 他に、ゆめこらぼセンタ 一長の小松真弓、西東京 レスキューバードの会 員がサポートする
4	谷戸	「正月飾り・注連 縄づくり」に挑戦	学習・ 自己実現	伝統文化の一つで ある正月飾りにつ いて学習すると共 に注連縄を手づく りし、その技術を習 得する	•	稲藁と真菰を使い自ら縄を 綯い、手づくりの注連縄を完成させる。 また飾り物の紙垂、水引、祝い箸袋 etc. も手づくりする。	森 須磨子(グラフィッ クデザイナー) 井上美由紀 (NPO 法人 「地球 (ちだま) と共に 生きる会」メンバー)
5	ひばりが 丘	防災講座 集合住宅の減災対 策でつながる	学習・自 己実現	大規模な集合住宅 が多い地域として、 減災に向けてどの ような備えが必要 なのかを住民同士 が意見を出し合い、 防災を考える	11月25日、12月 2日 日曜日 全2回	・在宅避難に必要な備えについて ・ライフラインの被害を受けた集合住宅で、住民の安否確認をゲームで体験 ・参加者意見交換	小野修平(ジョージ防災 研究所代表・防災アドバイザー) 西東京市危機管理室
6	保谷駅前	現代的課題を考える講座	学習・自 己実現	「居場所づくり」が 何故必要なのか、現 代社会の問題と、西 東京市の地域性か ら考えたい。		居場所の持つ力と役割を共 有する。 西東京市で現在展開されて いるサロンや居場所の事例 を知る。これから展開する居	んげ舎代表) 高橋 薫(文化学習協同 ネットワーク)

7	柳沢	家庭の教育力向上 家庭の教育力向上 講座 イラを減ら育 の会 の会 ではまりのようで ではまりがいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる に	学習・自己実現	子時思にを気い育めすみいもだをら学勇つ子つと悩てどのになる。不同持のは、理たに、見けなえ子士のはなるとでのはないのはを齢別の間を発して、見けなえ子士のはないのはないの間を発表のようと、	土曜日 A:午前 B:午後	場所やサロンづくりのビジョンを考える。 ①いのちの話 ~生まれてきてくれてありがとうと言える自分になるために~ ②子どもを勇気づける心構え~子どもを信じるとは~ *①の午前・午後各講座終了後、柳沢公民館30年度前期保育付き講座から立ち上がった人形劇サークルの人形劇を鑑賞予定。	会) 佐藤龍一(栄町地域包括 支援センター)他 ①青木千景(公益社団法 人誕生学協会 誕生学ア ドバイザー・バースコー ディネーター) ②成瀬タ子(勇気のなる 木代表、Hearty Smile 認定勇気づけ親子心理 学講座講師、看護師)
8	柳沢	子ども対象地域防 災講座 空き缶でごはんを つくろう!	地域づく り	空き缶を利用した 炊飯の体験を通し て、災害時のことに ついて思い想像す る機会とする。 ※西東京市立保谷 柳沢公民館と共催	11月19日月曜日	・アルミ製の空き缶を利用してかまどと釜を作り、ご飯を炊く。・発災時に何が起こるか、どのように命を守るか等について学ぶ。	小野修平(防災アドバイザー、ジョージ防災研究所代表)